

中学生が「新しいまちづくり」を提案

市では現在、平成19年度からスタートする「総合計画」の策定を進めています。この計画は、合併後の新しいまちづくりの指針となるもので、策定にあたっては、より多くの市民の意見を取り入れることが大切です。

このため、将来の旭市を担う子どもたちからも“新しいまちづくりの提案”を求め、その内容を総合計画に反映させることとしました。

提案に取り組んだのは、市内5校の中学2年生660人。今年の2月から約半年間にわたって調査学習を重ね、「あさひ夢ビジョン」と題した166件の提案書が提出されました。

ここでは、7月14日に東総文化会館で行われた発表会の席で提案された11件の内容について、その要旨を紹介します。



学校名 グループ名	提案者	【テーマ】と提案内容
第二中学校 1組5班	小倉裕紀、板橋成美、高橋ゆい、 高野雄貴、金澤宏憲	【旭市の水とゴミ】 汚れが目立つ仁玉川を木炭などで浄化する。 アジサイロードは、遊具を増やして、ゴミ箱も設置する。また、おそうじの日をつくり、みんなで掃除するとともに、あじさい祭りを開いて、親しみを持てるようにする。
第一中学校 1組2班	宮崎未咲、伊東美咲、實川幸代、 大橋美紅、土屋知未、八馬佑香利	【銀座通りを復活させよう計画】 銀座通りと駅前通りを一体化した新銀座通りをつくる。 通りは、歩行者と車が分離され、女性や子どもにも魅力あるお店が並び、休憩スペースやイベント広場、駐車場も設置する。
干潟中学校	菅谷竜太	【旭市の農業を学ぶ（野菜）】 珍しい野菜の生産と、野菜の直売所を増やす。また、テレビCMで旭市の野菜をPRする。 毎月1回米の日を決めて、みんなで米を食べるとともに、米祭りを開いて消費を増やす。
海上中学校 海上 BON'S	高木希望、吉川あゆみ、高木正人、 嶋田頌吾	【5中学校の合同文化祭について】 市内の5つの中学校が、合同で文化祭を実施し、合唱やレクリエーションなどを一緒に行うことで、生徒どうしの交流を図り、お互いの理解を深める。
飯岡中学校 1班	福田麻衣子、塩田枝里佳	【人間と動物が共に生きるまちづくり】 アカウミガメが産卵できるような砂浜を取り戻すため、海岸の清掃を行うとともに、保護区域をつくって車の進入を規制したり、照明を消すなど、人と動物が共存できる環境をつくる。
第二中学校 5組3班	椎名慧、飯島和直、井橋友香、 椎名愛莉、モラダ美樹、吉野寿美佳	【旭市のゴミ問題】 ゴミをきちんと分類してリサイクルし、出るゴミの量を減らす。 市民みんなでまちをきれいにし、ゴミを捨てないよう、ポスターなどで良心に呼びかける。
第一中学校 3組1班	三上真里奈、林綾野、加藤渚、 名智美也子	【旭いきいきプロジェクト】 七夕市民まつりの飾り付けを増やし、子どもからお年寄りまで楽しめる出し物も増やして祭りを盛り上げる。 中央病院を訪れた人が利用する、運動のできるスポーツジムやリハビリするための温水プールなどを備えた施設をつくる。
海上中学校 旭 Nets	渡辺大河、古橋直也、遠藤広規、 藤ヶ崎翔太	【旭市の海をきれいに】 ゴミが捨てられる場所にゴミ箱を設置するとともに、市民全員で清掃奉仕を行い、海岸をきれいにする。 罰金を厳しくして、ゴミを捨てないようにする。
第二中学校 3組1班	遠藤ゆり恵、三上優香、伊藤歩美、 江波戸あゆみ	【福祉・バリアフリー！】 道路やバス、建物、トイレなど障害者のあらゆる生活場面で、バリアフリーの整ったまちをつくる。 だれにでも手を差し伸べて助け合える、心のバリアフリーのまちをつくる。
飯岡中学校 9班	神原悠河、向後大希、斉藤誠也、 伊藤啓、大木陽平	【リサイクルシティAsahi】 廃棄物などのバイオマスを活用して、電気や燃料などのエネルギーをつくるとともに、生分解性プラスチック製品の使用を義務付け、環境にやさしいまちをつくる。
干潟中学校	木内陽子	【旭市の交通を便利にしよう～高齢化社会に向けて～】 高齢者の行動範囲を広げて若年層との交流を図るため、市内の全ての地域で、コミュニティバスなどの公共交通網を充実させ、高齢者にやさしいまちをつくる。